

# 前置詞の 抽象拡張 - 講義

## 1 導入

この講義の核心は、前置詞の抽象的な用法を「例外が多い暗記事項」として扱わず、場所や時間で見た核意味の延長として理解することである。by Friday、until Friday、for three years、since 2022、within a week は、全部別々の規則ではない。期限・継続・起点・枠内という見方の差が表面化したものである。

## 2 中心課題

なぜ「金曜日までにお願いします」は by Friday であり、until Friday ではないのか。なぜ「3年間ここに住んでいる」は for three years で、「2022年から住んでいる」は since 2022 なのか。また、なぜ「1週間以内に」は within a week と言っても、in a week とは意味がずれることがあるのか。

## 3 用語

- 起点: 時間線や行為の始まりとして置かれる点
- 終点: 行為や期間の終わりとして意識される点
- 期限: その時点までに完了していなければならないという上限
- 枠内性: 一定の期間や範囲の内側に収まるという見方

## 4 方針

抽象的な前置詞で迷ったときは、次の順序で考える。

1. 継続を言いたいのか、起点を言いたいのか、期限を言いたいのかを決める
2. その時間表現を線として見るのか、点として見るのか、枠として見るのかを決める
3. そのあとで for / since / until / by / within のどれがその像に合うかを選ぶ

→ 講義 前置詞の語法 [lecture](#) [english](#) [preposition](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/preposition/前置詞の語法-講義/>

## 5 直感的な説明

前置詞の抽象拡張では、時間を「道」のように見ると理解しやすい。since 2022 は「2022年という出発点から今まで続いている」と見る。一方、for three years は長さそのものを見ている。by Friday は「金曜日という線を越える前に完了させる」、until Friday は「金曜日まで状態を保つ」と見る。

Display

a. Please submit the form by Friday.

b. The office will remain closed until Friday.

a では完了時点が問題であり、b では継続状態が問題である。同じ「まで」でも、何を見ているかが違うため、前置詞も変わる。

## 6 厳密な説明

### 6.1 1. for と since

• for: 期間の長さを示す

• since: 継続の起点を示す

したがって、for three years は「3年間という幅」を述べ、since 2022 は「2022年から始まっている」という起点を述べる。ここで since three years や for 2022 にすると、見ているものがずれる。

### 6.2 2. by と until

• by: 期限としての終点

• until: 継続が及ぶ終端

submit it by Friday は、金曜日までのどこかで完了すればよいという意味である。一方、stay here until Friday は、金曜日まで状態が続くことを示す。したがって、「金曜日までに提出する」を submit it until Friday とすると、完了ではなく継続の像になってしまう。

### 6.3 3. within と in

• within: 枠内・制限内に収める

• in: 期間後の到達や期間内部の位置を示しうる

within a week は「1週間の枠内に収まる」という制約が前面に出る。一方、in a week は「1週間後に」という到達点にも、「1週間で」という所要時間にもなりうるため、文脈の支えが必要になる。

### 6.4 4. 目的・原因への広がり

前置詞は時間だけでなく、目的や原因の関係にも広がる。たとえば for safety は「安全という目的に向けて」、from stress は「ストレスを原因として」という見方である。ここでも、何が起点か、何が向かう先かという空間的な像が背景にある。

## 7 最小の具体例

### 7.1 例 1: 継続と起点

#### Correct

She has worked here for five years.

#### Correct

She has worked here since 2021.

#### Incorrect

She has worked here since five years.

[PRP] 起点ではなく期間の長さを置いている。

### 7.2 例 2: 期限と継続終端

#### Correct

Please send us the final version by Monday.

#### Correct

The exhibition will run until Monday.

#### Incorrect

Please send us the final version until Monday.

[PRP] 完了期限を継続の終端として書いている。

### 7.3 例 3: 枠内性

#### Correct

We need to finish the checks within a week.

#### Incorrect

We need to finish the checks in a week.

[PRP] 文脈によっては可能だが、「期限内」という制約は弱くなる。

## 8 別の見方

抽象拡張を難しく感じる理由の1つは、学習者が時間・目的・原因を別々の規則として覚えようとする  
 ことである。しかし、実際には空間的な像が抽象領域へ移っているだけだと見るほうが統一的である。by  
 は点への到達、until は線の持続、within は枠の内側という像を保ったまま抽象化されている。

## 9 見分け方

- 起点を言いたいなら since、長さを言いたいなら for
- 期限までの完了なら by、状態の継続なら until
- 「以内」「枠内」を強く言いたいなら within
- 日本語の「まで」に引かれたときは、完了か継続かを先に確認する

## 10 どこまで成り立つか

この講義では、前置詞の抽象拡張を時間・期限・目的・原因に絞っている。しかし、実際には談話慣習や  
 定着表現の影響も大きく、核意味だけで機械的に全部を決めることはできない。とくに in a week のよう  
 に文脈しだいで解釈が動く表現は、前後関係を必ず確認する必要がある。

## 11 最終形

### Display

抽象的な前置詞の判断

継続か、起点か、期限か、枠内かを先に決める

→ その像に合う for / since / until / by / within を選ぶ

## 12 一言でいうと

前置詞の抽象拡張とは、場所や時間で見た像を、期限・継続・目的・原因へ移して使うことである。

## 13 関連リンク

→ [講義](#) 前置詞の語法 [lecture](#) [english](#) [preposition](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/preposition/前置詞の語法-講義/>

→ [問題演習](#) 前置詞の核 [exercise](#) [english](#) [preposition](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/english/preposition/前置詞の核-問題演習/>

→ 定石集 誤りタグ体系 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>